

夢の島

ゆめひろば

Vol.49



夢の島で会いましょう



TOPICS



中学2年サッカー部 野村大輝さん、 サッカー-東京都中体連選抜U14に選出



中学サッカー部に所属し、キャプテンを務める野村大輝さん（中学2年生）が、東京都中体連選抜U14選考会に見事合格し、東京都選抜30人の一員に選出されました。本校の生徒が東京都選抜に選ばれるのは、これが初めての快挙となります。

サッカー「東京都中体連選抜」は、東京都中学校体育連盟が主催する選抜チームで、**地区選抜からさらに選ばれた東京都の精鋭選手が集うチーム**です。その選考は複数のステージを経て行われます。東京都の5つの地区からなる地区選抜メンバーとして年間を通じて活動を行い、最終的に今回、フィールドプレーヤー26名とゴールキーパー4名が東京都中体連選抜に選出されます。**野村さんは今回、高い技術力と戦術理解力が評価され、見事に合格を果たしました。**選抜選手は技術向上を目指し、練習を重ね、合宿や他県チームとの試合を行います。

この経験は、本人の競技力向上だけでなく、チームメイトへの良い刺激にもなることでしょう。本校サッカー部にとって、都選抜メンバーを輩出したことは大きな励みとなります。この快挙を機に、部活動全体のさらなる活性化と技術向上が期待されます。



野村さんのコメント

選抜に選ばれた時は本当に嬉しかったです。選考では状況把握や声掛け、決断力が求められ、自分の特徴を意識してプレーしました。部活では礼儀や挨拶を大切にし、部員全員が純粋にサッカーを楽しみながら、仲間と共に成長を実感しています。



ごあいさつ



工学院大学校友会 附属高等学校同窓会

会長 内野 正之

**校友会125周年、
高校同窓生は2万7千人**

同窓生の皆様、日頃より多大なるご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。本校は昭和23年に新宿で開校し、2022年に創立75周年を迎えました。その前身である昭和19年設立の工業学校は、戦時中、多くの若者が学徒動員され、技術者として国の発展に寄与した歴史があります。この精神は、明治時代に設立された工手学校の「国の未来を担う技術者育成」という理念に深く通じています。同窓会は1967年に校友会に加入し、今年で約60周年を迎えました。一方、校友会そのものは2024年に設立125周年を迎え、長い伝統と豊かな歴史を受け継いでいます。

近年、コロナ禍により、従来のような「会員相互の親睦と連携」を図ることが難しい状況が続いています。それでも、母校や在校生への支援、会報の発行などの活動は変わることなく継続してまいりました。直近では、4年ぶりに高校同窓会独自のホームカミングパーティーを新宿キャンパスで開催し、100名を超える同窓生の皆様にご参加いただきました。特に、20代の若手同窓生が多数参加されたことは世代を超えた交流を実現し、「親睦と連携」の重要性を改めて認識する機会となりました。このような集まりは、同窓会活動における大きな希望と可能性を示していると言えるでしょう。

現在、八王子卒業生の数は新宿卒業生の2.3倍に達しており、10年後にはほとんどの同窓生が八王子卒業生となる見込みです。こうした状況を踏まえ、10年先を見据えた同窓会活動を進めることが求められます。同窓会の未来を築くには、会員一人ひとりの協力が欠かせません。皆様と力を合わせ、さらに充実した活動を展開してまいりましょう。

最後になりますが、125周年記念誌で取り上げられた2006年の問題について、会長として改めてお詫び申し上げます。現在、コンプライアンスと再発防止策を徹底し、透明性のある運営を行っています。引き続き、附属高等学校同窓会へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



工学院大学附属中学校・高等学校

校長 中野 由章

**附属中学校・
高等学校の教育**

工学院大学附属高等学校同窓会のみなさまには、平素から附属中学校・高等学校の教育活動を全面的に応援していただいていること、心より厚く御礼申し上げます。

2024年度は、「DXハイスクール」と「Cambridge English / International School」で本校の教育が注目を集めました。生徒のみなさんにとってみると、特になんてことのない普通の授業だと感じていると思うのですが、世間一般から見ると、先進的で優れた教育だと認識していただいていると自負しています。

私自身は、国内のみならず海外の学校の校長先生とディスカッションすることが多々あります。その中で必ず話題になるのは、「学校の目標は何か」「具体的にどんな方針で学校を経営しているのか」「どんな生徒を育成しようとしているのか」といったものです。本校の校訓は「挑戦・創造・貢献」であり、結果を恐れず、何事にも積極的に挑戦しようとする生徒を育成しています。教職員に対しては、校長がトップダウンで指示するのではなく、一人ひとりがその強みを活かして具体的に何をするか考えて行動する、自律的かつ自由な組織づくりです。校長はあくまでも、方針を示すこと、責任を負うこと、生徒や教職員が安心して挑戦できる環境を整備することに徹しているつもりです。それにしっかり応えてくれている、本校の生徒のみなさんと教職員は、本校の自慢です。

本校には、多くの同窓会員が教職員として勤務しています。御自身が本校生徒だった時に素晴らしい教育を受け、素敵な教職員と巡り逢えたことが、教職員として母校に戻る大きな推進力になったと拝察します。異動のある公立校とは違い、卒業後に母校を訪問した時、お世話になった教職員にいつでも会えるというのも、私学ならではの魅力だと思います。本校を卒業されてから、各方面でご活躍されている同窓会員のみなさまも、お時間のある時に母校を訪れていただきたいと思います。そして、校長室を訪れていただき、さまざまなご助言を賜りたいと願っています。

学校だより



高等学校だより

2024年度 高等学校活動報告

副校長 島田 浩行



同窓会の皆様、毎年母校の為に色々ご理解とご協力、ご支援をいただき、誠にありがとうございます。

昨年度は272人の新入生を迎え入れてスタートを切りました。年度の学校行事も高尾山の強歩大会からスタートしました。4月25日に実施し天候にも恵まれ、生徒はみな新緑の高尾を楽しんでいました。文化祭（夢工祭）と体育祭はほぼ通常通りの形で実施できました。生徒諸君は実行委員会を中心にしっかりと準備、運営を行い、本当によく頑張りを盛り上げてくれました。文化祭は9月21日22日に行われ、昨年同様に模擬店も実施しましたし、各クラスの出し物も通常通り実施しましたので多くの生徒たちは十分に楽しんでいました。夏休み中から準備を行っていたクラスもありました。文化部の活動発表も盛大に行われ、特設ステージでは昨年同様にダンス部・吹奏楽部・軽音楽部、体育館での演劇部の発表が行われ、盛り上がっていました。体育祭も例年とほぼ同じ内容で11月5日に本校グラウンドにて実施することができました。クラス対抗の大縄跳びや全員リレー、女子のダンスが大変に盛り上がりました。クラス対抗全員リレーには多くの教職員も参加し大会を盛り上げました。



クラブ活動では、柔道部が都大会の個人戦100kg級で優勝と大活躍いたしました。インターハイに出場し、ベスト16と大健闘でした。これからの活躍が楽しみです。また関東選抜柔道大会に個人戦で2名の生徒が出場し活躍いたしました。陸上部では都大会において男子1年生砲丸投げで1位となり、関東大会に出場し大健闘いたしました。男子バスケットボール部では今年も東京都支部選抜選手に選ばれた生徒がいました。ソフトテニス部は八王子市民大会で

男子ペアが3位、女子ペアが準優勝となり健闘いたしました。自動車部は今年も白浜ソーラーカーレースに出場し特別賞を受賞いたしました。演劇部は東京私立中学高等学校演劇発表会で特別賞受賞しました。硬式野球部は夏の西東京大会で4回戦まで進出、今年も吹奏楽・チアの応援があり大会を盛り上げてくれました。また球場では多くの卒業生の皆様にご声援をいただきました。誠にありがとうございました。野球部は大会以外にも11月にバングラデシュにおいてインターナショナルスポーツコラボレーションに参加、貴重な体験ができたと思います。

海外研修（宿泊行事）として、高校2年生で12月にグローバルプロジェクト（宿泊研修）を昨年に続き実施、行き先はシンガポール、沖縄、奄美大島、北九州、南九州、関西、ネパール（インターナショナルクラス）で、それぞれの場所でSDGsに関するプロジェクトを実施することができ、全て無事に終わることができました。また年明けの1月から3ヶ月留学を今年もオーストラリアで実施し7人が参加いたしました。またインターナショナルクラスの生徒がコロンビアで開催されたラウンドスクウェア国際会議に参加しました。このように海外も含め宿泊行事が今年も通常通り行えたことは本当に良かったと思います。



まだ他にも紹介したい活動がたくさんありますので、是非本校のホームページBlogをご覧ください。

このように、生徒たちは今年度も様々なことにチャレンジし、活躍しました。同窓会の皆様には今後とも是非ご理解とご協力をいただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。また、お時間があるときには是非母校にお越しください。お待ちしております。



中学校だより

2024年度 中学校活動報告

教頭 田中 歩

日頃より、卒業生の皆さまには多大なるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

今年度より中学校の教頭をしております、田中と申します。非常勤講師を4年間務め、その後専任となり、一貫15期生の担任を6年間、インター1期生の中2・中3担任、高校教務主任を6年間。部活動は着任からサッカー部です。また、文科省の英語教育推進リーダー、21世紀型教育機構・22世紀型教育研究センター 所長、Cambridge International School of Exam Officerを務めております。

さて、2024年度はコロナの影響は完全に無くなり、多くの行事が行われました。新入生103名を迎え、各学年4クラス計327名のスタートとなりました。また、海外などからの転入生も久しぶりに迎え、徐々に以前の形となっています。

中学1年生は「社会課題」の解決を目標に掲げ、多くの学校が行い始めた探究活動を、10年前から始めた工学院が先導していく思いで、学年団の先生方が行っています。現代の子供たちはPC・スマホ・生成AIがあることが当たり前になっているため、そこにある情報があたかも自分の知識や経験のように感じてしまいます。工学院は、経験して自分の意見を持つことを重視して教育活動を行っております。入学前の課題である「10年後の自分」で描いたものが社会情勢と共にどう変化していくのか、生徒のキラキラした目線が失われることなく探究していけるのか、今後にご期待ください。

中学2年生は11月のプロジェクトツアーで神戸・淡路を訪問しました。1年次から「食」をテーマに探究を進めてきた中で、その核となる行事と位置づけ、「耕作放棄地」で



自分たちに何ができるのかを、考えるよりもまず体験しました。「農家は時給に換算すると10円になる→農業がなくなればどのような影響か→自分はどうする」と、今の子どもたちに必要な思考を養いました。また、災害の経験がない状態で被災した場合、主体的な行動をすることは難しくなります。約30年の時が経っても影響がある災害を感じ、何ができるかを考えるきっかけにもなりました。事前に防災に関わる施設を訪問し、インフラの現在も踏まえながら、事前ー現地ー事後で充実した学びを行いました。

中学3年生は目玉でもある海外異文化体験研修を8月に行いました。今年度、先進クラスは例年同様オーストラリア・アデレードで2週間のホームステイか、オーストラリア・パースでのアドバンスプログラムを選択制で行いました。コロナの影響を考えず、全員参加でできたのはとても大きいことでした。工学院の伝統的な行事として今後たくさんの学びを与える行事になるという確信が、生徒たちの様子から伺うことができます。

中3インターは、オーストラリア・パースでJapan Festivalに「日本のお祭り」を出店し、現地の方々に日本の文化を発信しました。どうしたら来てもらえるかを考えながら、持ち前の英語力を生かし、自分自身とも向き合うプログラムでした。

全体としては、強歩大会・文化祭・体育祭・映像祭・合唱祭は例年と同様、多くの笑顔に溢れ、生徒一人ひとりの成長がとてもよく見えました。今年度は体育祭でCHEER UPというクラウドファンディング型の取り組みを行い、生徒が創っていく工学院、まさに挑戦・創造・貢献を行っています。

今後も生徒の成長のため、多くのご支援をいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



高校時代の思い出と これからの歩み



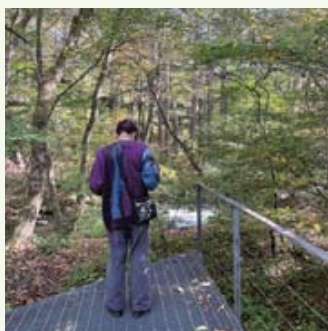
丹 歩輝 (2024年 普通科卒)



私は高校時代、文理先進コースに在籍し、さまざまな活動に積極的に取り組んできました。

高校では広報班として文化祭の広報や企画に携わり、とともに、文化祭実行委員として会場設営や当日の運営を担当しました。特に高校2年生のとき、コロナ禍明けの文化祭では音響や映像設備の仕様を検討し、機器の選定や購入、設置までを一手に引き受けました。裏方の立場で文化祭を支えた経験は、責任感や実務能力を高める貴重な機会となりました。また、卒業後は後輩が音響や映像設備の取付で困らないよう、接続方法をわかりやすくまとめたマニュアルを作成し、誰が実行委員を担当してもスムーズに運営できるよう環境を整えました。

また、テニス部にも所属し、部長として合宿の計画やチームの運営を任されました。合宿では、場所の選定や当日の練習メニュー作成、しおりの準備を行い、計画から実行まで全体をまとめていきました。長時間の練習を終えた後には、夜にメンバーとゲームを楽しむなど、チームの結束を高める工夫もしてきました。



これらの経験を通じて、リーダーシップや計画力、実行力を磨くことができました。このように培ったリーダーシップやチームワークの大切さは、現在の私の大学生活においても活かされています。さらに、卒業後は母校の中学校でテニス部のコーチを務め、後輩の技術向上を支援するとともに、部活動を通じて後輩たちの成長が見られることにやりがいを感じています。

現在は工学院大学建築学部に進学し、忙しいながらも充実した毎日を送っています。大学生活では、建築を学びながら仲間たちと楽しい時間を過ごし、メリハリのある充実した日々を送っています。

最近では、大学の課題として出される建築模型制作の締め切りに追われる日々が続いていますが、その中でも大学の友達と軽井沢に、現地の建築物を見学と遊びを兼ねて訪れました。勉強と遊びのバランスを取りながら、忙しさの中にも充実感を感じる生活を送っています。高校時代に培った経験やスキルを活かしつつ、今後もさらに成長を目指して努力を続けていきたいと思っています。





広がる世界と私の学び： 法律から国際政治への挑戦

面手 瑛理香 (2023年 普通科卒)



中学高校在籍中はインターナショナルコースに在籍していました。高校卒業後は、立教大学法学部国際ビジネス法学科グローバルコースに進学しました。

このコースはその特徴として、4年間を通して英語で開講されている授業のみの履修で卒業が可能です。契約法やアメリカ企業法をはじめとする法律だけではなく、交渉術や仲裁などについても、すべて英語で学ぶことができる講義があるため、ビジネスにおける実践的な視野も広げることができます。まだ開設3年目で、定員数も少ない小規模なコースですが、その分教授との距離が近く、どの先生方も細やかにサポートしてくださるので、とても学びやすい環境であることを日々実感しています。

最も印象的だった「Legal Writing」の授業では、三段論法を取り入れた合計3,000ワード（A4ワード文書約12ページ相当）超えのエッセーを英語で執筆しました。内容が高度で挑戦的な授業でしたが、この期間を通じて法律の知識を深めるだけでなく、精神的にも大きく成長することができました。



サークルは学園祭実行委員会に参加し、協賛金や協賛物品を募るために企業に対してメールや電話でやり取りを行い、商談を担当する部門に所属しています。2024年度には、一部の企画において広報班長を務め、企画SNSの運営を行いました。



9月からは、イギリスのアベリストウィス大学に長期留学をし、国際政治を学んでいます。これまで学んできた法律と国際的な事象を結びつけて多角的な視点から物事を分析することが可能なため、国際政治を学ぶことで、より深い学びを得ることができています。

また、日々の授業で求められる言語力の高さに苦戦しつつも、ほかの留学生とともに切磋琢磨して課題に取り組んだり、交流を通じて文化や生活スタイル、国民性といった多種多様な違いを知ることができたりと充実した生活を送っています。留学だからこそ得られる貴重な経験を通じて広い知見を得て、将来は国際社会という舞台で活かせるように努めていきたいです。





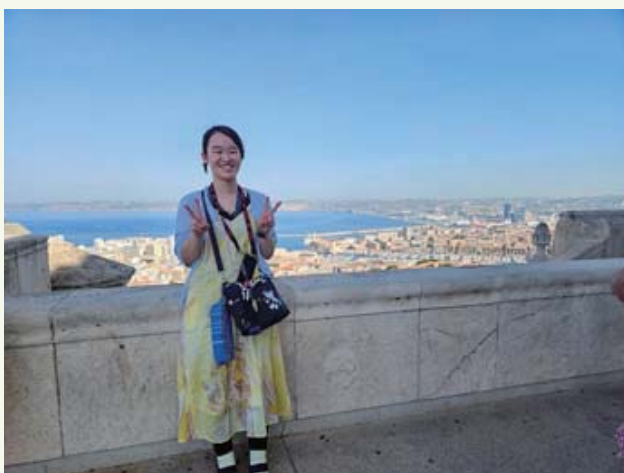
とりあえず行ってみよう。 やってみよう。



岩本 ゆりな (2017年 普通科卒)

こんにちは！2017年普通科卒業の岩本ゆりな、です。
中学からの内部進学生で16期にあたります。

同期は動物園にいるかのような賑やかすぎるメンバーが勢揃いで、いい意味で変わった人ばかりでしたが、毎年の忘年会で会うと、ものすごく大人になったな〜と感じる面々が揃った代です。私がそんな中で変わっていたところは「すぐ、どこか行っちゃう」でしょうか。

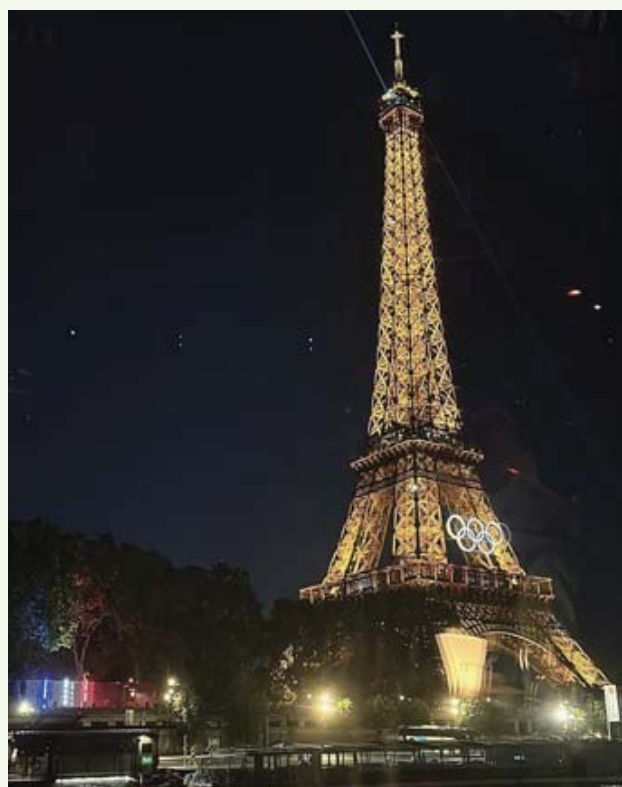


海外研修から得た大きな夢



中学時代、3週間のオーストラリアでの研修が初めての海外。英語を幼い頃から習っていたのもあり、英語しかない世界がとても新鮮でした。

高校に入ったらセブ島の語学研修やオーストラリアでの3ヶ月間の留学プログラムに参加。もっと海外で過ごしたい、オーストラリア最高!となった私は、当時の夢であった航空エンジニアになるためにもっと学びを深めたいと、3ヶ月留学でお世話になった学校やホストファミリーに自分で受入依頼をし、トビタテ留学JAPANの奨学金を活用させていただき、さらに3ヶ月間のオーストラリア留学を高校2年で経験できました。



高校3年になっても機会に恵まれてニューヨークやボストンに1週間程(受験期にもなって行ってしまう私は大変担任を心配させました笑)。

工学院だからこそ得られた機会を活用しながら、普段の学校生活も含めて、私の礎になる経験や思い出ができました。工学院に通えたことが今の私の誇りです。



大学と就職は全部つながっている

とりあえず行ってみよう！やってみよう！の精神で大学、そして就職へ。中高生時代に思い描いた世界では全くないけれど、置かれた場所でとりあえずやってみようの毎日です。

今の仕事は、災害時に備え、防災減災の取組を多様な団体や人とともに講座やイベントの企画、ネットワーク組織の運営を行ったり、情報誌作成のため取材から編集までをやったりと、多彩な事業を同時進行で行い頭フル回転の毎日です。中高生時代に色んなところに行き、たくさんの人たちと出会った経験は、仕事にとっても活かされています。誰とでも臆することなく話ができるし、これまでの出会いをきっかけにして情報誌の取材ができたこともあります。一度の経験はそれで終わりではなく、これからもそれを上手く活用していくことが大切なんだと日々実感しています。



現在の趣味はバスケの応援

そして、職場での新たな出会いをきっかけに、今はバスケの応援に沼ってます！なんとなく誘われて観戦に行ってみただけなのに、日本中そしてパリオリンピックにも応援に行くほど。

毎試合、推しの活躍に喜び、チームの躍動に心動かされ、「ココロ、たぎる。」瞬間が毎回です。ぜひ一度足を運んでみてください。そして、この沼のおかげで、アウェイにも直接応援に行ってみよう！と思いたち、今まで行ったことのなかった地域を巡り、美味しいご飯と少しの観光を楽しみ、各チームのブースターの方や地域の方から温かな優しさを毎回のようにいただき、観戦旅行がいまの楽しみです。

行ってみたいの気持ちでチケットを取ったオリンピッ

クは、やっぱりすごい一言に尽きます。観客席が一体になった応援や世界各国の人々が敵味方関係なく競技に熱狂する様子は圧巻でした。パリはとても素敵な場所だけど、行ったからこそ分かる地域の陰の部分を知ることができたり、浴衣を着て応援に行ったら現地の方との撮影ラッシュで、日本が愛されていることも実感しました。社会人になってもまだまだ私の世界がどんどん広がっているのはバスケのおかげです。



何がきっかけになるかは分からない。ひょんなきっかけがあれば、自分の努力で得られる機会もある。なにごともしず「とりあえず行ってみる。やってみる」で得た経験が今の私を支え、そして世界を広げています。これからも、この気持ちを大事に過ごしていきたいです！





校友会・高知大会 オプションツアーで 歴史を楽しむ

太田 正利 (1973年 普通科卒)



2024年11月、校友会第20回全国大会・高知大会が開催されました。本会からは会長・内野正之さんをはじめ岡安彰さん、太田正利さん、小林保男さん、荒井翔平さんの計5名が参加し、校友会支部や他同窓会の方々と親睦を深めました。その大会翌日に行われたオプションツアーの一つに参加した太田さんからのレポートです。

高知大会・実施要項

11月9日（土）

- ・記念式典
高知県立県民文化ホール・グリーンホール
- ・祝賀会
三翠園（旧山内家下屋敷跡）

11月10日（日）

オプションツアー

- ①龍馬コース
（高知城・牧野植物園・桂浜散策・坂本龍馬記念館）
- ②佐川・仁淀川コース
（さかわ町あるき、名越屋沈下橋・桂浜散策）

高知大会翌日の11月10日、私はオプションツアー「龍馬コース」に参加しました。高知城では天守閣まで上りました。城の天守までは急な階段梯子を4回も上ります。上ってはまた上り、息はみだれ、足は上がらなくなり、どうにもならない大変な経路でしたが天守からは高知市内を一望でき、魅力的な高知城の見学となりました。

そして、牧野ボタニカルガーデンはNHK朝ドラ「らんまん」の主人公で有名になった、牧野富太郎博士の植物園です。1958年開園、8haの園地には3,000種類以上の植物が四季を通して楽しめます。園内では朝ドラで出てくる植物の展示名札に印があります。例えば牧野植物園のロゴマークはバイカオウレンの葉で、高知では春を告げる植物の一つです。東京にいた牧野博士は故郷に思いをよせ、事あるごとにバイカオウレンの葉を眺めたそうです。



また、牧野富太郎博士の妻の名前は「壽衛(すえ)」です。牧野博士は妻への感謝の気持ちを込めて、仙台市で発見した笹を「寿衛子笹(スエコザサ)」と命名しました。

【参考】寿衛子笹(スエコザサ/すえこざさ)；高知県出身の植物学者・牧野富太郎が妻の名前にちなんで命名した植物。葉は長さ10cm程度の長楕円形。表面に白くて長い毛が並び、葉の縦半分が向こうに反り返って皺になる特徴を持つ。(庭木図鑑「植木ペディア」<https://www.uekipedia.jp> より)





大分の熱戦

～インターハイで得たかけがえのない経験～

柔道部

顧問 青木 慎英

生徒 高校3年生 クーリック・アレックス

1
回
戦

勝ち

対 津幡高校（石川県） 浅田くん

一本勝ち：大外刈り

2
回
戦

勝ち

対 九州学院（熊本県） 内山くん

ゴールデンスコアの末、技あり勝ち

3
回
戦

負け

対 東海大相模（神奈川県） 竹内くん（今大会の準優勝選手）



本校柔道部が2024年度、全国高等学校総合体育大会（インターハイ）に出場し、ベスト16という素晴らしい成績を収めることができました。激戦区の東京予選を勝ち抜き、全国の舞台に立った本校の選手の活躍をご報告いたします。

2024年5月18日（土）東京武道館で、第73回全国高等学校総合体育大会柔道競技大会の東京都予選会が行われました。全国高等学校総合体育大会はインターハイと呼ばれ、全国の高校生が一番の目標としている大会です。その中で、本校3年生のクーリック・アレックスくんが東京予選の100kg級で優勝し、インターハイへの出場権を獲得しました。同窓会からのご支援により、選手の移動費・宿泊費および試合用柔道着の購入が実現し、万全の態勢で大会に臨むことができました。

8月10日～14日に大分県レゾナック武道スポーツセンターで開催された全国高等学校総合体育大会。全国大会の舞台に立つという大きなプレッシャーの中、クーリックくんは力強い戦いを見せ、100kg級でベスト16に進出しました。

今大会をクーリックくんは次のように振り返ってくれました。「初めての全国の舞台だったので会場の空気に圧倒されてしまいました。個人戦の2日前に団体戦

があったので会場の雰囲気を1日見ていたのですが、チームの声援、観客の声、全てのスケールが桁違いで少し萎縮してしまいました。また、大分に着いた日から体調が悪くなってしまい、個人戦の前日、当日は体調最悪で食事もうまく通りませんでした。しかし、道着を着たら気持ちが引き締め、なんとか栄養も取れて試合に臨めました。1回戦目は自分の柔道を組み立てることができ、相手を大外刈りで投げ切り一本で勝利しました。2回戦目はゴールデンスコアまでもつれ込んだ長期戦でしたが大外刈りで技ありを取り勝利しました。3回戦目は結果的に準優勝した相手に当たり、全く自分の柔道ができず圧倒されてしまい、ベスト16という結果に終わりました。試合の後は大分が温泉の名所ということもあり、温泉に行き体を休めました。この全国大会でとても貴重な経験をすることができました。」

このような素晴らしい結果を得られたのは、日々の指導をしてくださる先生方、共に練習を重ねた仲間たち、そして温かい応援を送ってくださったOBOGや学校関係者の皆さまのおかげです。また、大会当日に現地まで応援に駆けつけてくださった皆さまにも、心より感謝申し上げます。

今回の経験を糧に、さらに柔道部全体のレベルアップを目指していきます。来年度以降も全国大会出場、さらには上位進出を目標に、これからも努力を重ねてまいります。引き続き、柔道部へのご支援、ご声援のほど、よろしくお願いいたします。





活動助成報告

男子バスケットボール部

顧問 安芸 佑介

12月24日～26日の3日間で各県を代表する三重・津工業高等学校、富山・高岡第一高等学校、山梨・自然学園高等学校、東海大甲府高等学校、岐阜・高山西高等学校そして東京上位チーム・東海大菅生高等学校、成立学園高等学校、世田谷学園高等学校、大学生は国土舘大学、埼玉工業大学、杏林大学をお招きして工学院大学八王子キャンパス体育館で「The Training Camp in Winter2024 主催：工学院大学附属高等学校男子バスケットボール部」を開催しました。

本練習会の運営費として、高校同窓会からの助成金を充てさせていただきました。日ごろから本校部活動へのご理解、またご支援・ご声援に深く感謝申し上げます。年明けの新人戦や新年度に控える各都県の大会に向けてそれぞれのチームと切磋琢磨し強化に励むことが出来ました。

硬式野球部

顧問 雨宮 啓太



今年も高校硬式野球部の選手権大会西東京大会（夏季大会）において、硬式野球部や応援団の輸送費および応援団の入場料に活用させていただきました。多くの注目を集める大舞台の中で、選手たちは吹奏楽、チアリーダー、保護者、OB・OG、学園関係者など、たくさんの方々の熱い声援を受けながら試合に挑むことができました。

残念ながら、神宮球場や甲子園への進出は叶いませんでしたが、改めて応援の力の大きさを実感しました。皆様の熱い応援に深く感謝を申し上げます。これからも練習に励み、さらなる挑戦に向けて精進してまいりますので、引き続きご声援を賜りますようよろしくお願いいたします。



陸上部

顧問 豊泉 登敬



7月13、14日に開催された、第45回東京都高等学校選抜陸上競技大会において、本校陸上部1年生の高階蒼大が砲丸投に出場し、15m44の記録で見事1位に輝きました。高階は中学1年生の時に体育の先生の勧めで砲丸投を始めました。競技を続けるうちにその面白さに魅了され、着実に成長を遂げてきました。学内には砲丸投の設備がなく、週に2回ほど学外で練習を重ねてきました。また陸上部活動にも積極的に参加し、長距離走や短距離走を通じた基礎体力の向上が砲丸投のパフォーマンスにもつながっています。

さらに高階は、9月22日の「第76回東京都高等学校新人陸上競技対校選手権大会（都大会）」では3位入賞を果たし、関東大会への出場を決めました。本大会の栃木への遠征に際し、高校同窓会から助成金をいただき、遠征費および宿泊費に充てさせていただきました。ご支援に深く感謝申し上げます。関東大会では10位（25名中）という結果となりましたが、全国レベルの選手たちと競い合い、大きな経験を得ることができました。



この貴重な機会を糧に、部活動全体でさらなる成長を目指していきます。引き続きご声援をよろしくお願いいたします。

演劇部

顧問 齋藤 卓己



2023年度と2024年度の2年間にわたり、中学校校舎2階の「多目的教室」に舞台用のLED照明を設置することで、「多目的教室」が「小ホール」的な空間も担えるよう、整備してきました。この整備により、演劇部の公演をはじめ様々な部の発表会・コンサート・ライブ等が従来に比べてより手軽に、且つより気軽に、より効果的に実施できるようになりました。さらに、今後は多目的教室を利用した授業展開や、中学生や高校生の自主企画にも「小ホール」として活用できることが期待できます。

貴同窓会からは「 Horizont幕」の購入費用をご援助いただき、誠にありがとうございました。ここに改めまして心より感謝申し上げます。

舞台用のLED照明設備が整った多目的教室を活用することで、お陰様で「東京私立中学校演劇発表会」では「特別賞」を、「東京都高等学校演劇コンクール・多摩北地区大会」では「奨励賞」をそれぞれ受賞することができました。

今後とも在校生に対する深いご理解と温かいご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

活動報告

新会員の
皆さんへ

**ご卒業おめでとうございます！
そして、同窓会へようこそ！**

本会では卒業生が集い、情報交換するための各種企画・イベントを運営しています。

クラブ活動助成

前年度は男子バスケットボール部、陸上部、硬式野球部（チアリーダー等の応援生徒を含む）、演劇部、ダンス部、柔道部の各クラブ活動へ助成を行いました。主な助成内容はp.10活動助成報告をご覧ください。

卒業記念品、同窓会クラブ賞の贈呈



例年、3月の卒業式には卒業生に対して卒業記念品を贈呈しています。前年度は本会名入りのモバイルバッテリーを贈りました。また、各クラブ活動の代表者には同窓会クラブ賞(図書カード)を贈りました。

「夢広場」ダイジェスト版の配付



新しく同窓会員となる卒業生へお祝いの言葉と本会の活動内容を伝えるため、同窓会報「夢広場」ダイジェスト版（A4判両面カラー）を卒業式で配付しました。

年間行事・イベント

前年度はコロナ禍における行事・イベントの開催要件が緩和され、昨年5月26日に大学新宿キャンパスにて校友会社員総会ならびに本会の報告会兼意見交換会が対面で開催されました。母校「夢工祭」での企画「おもいでCafe」は学校行事上の制約により出展を見合わせました。ホームカミング・パーティー（HCP）は諸事情により開催を見送りました。この他、本会と校友会西東京支部との企画連携により高校野球西東京大会にて硬式野球部の応援・激励を行いました。

「夢広場」OB・OG寄稿文、会報編集委員

社会で活躍するOB・OGの皆さん！同期生との交流やご自身の仕事、趣味などを寄稿しませんか？こんなスゴイOB・OGがいる！といった情報もぜひ、お寄せください。

★寄稿文が多数寄せられた際は掲載を次号に繰り越す場合がありますのでご了承ください



私たちと一緒に、この会報を作りませんか？主な仕事は誌面づくりのアイデア出し、原稿や写真の収集、編集ページのチェックなど。活動は基本的にオンラインで行います。

★編集会議の時期はおおよそ10月から翌年3月です

高校同窓会 会報編集部
(校友会事務局内)

電話03-3342-2064 FAX 03-3342-2035



ウェブサイト



公式 Facebook



LINE



Instagram

工学院大学附属高等学校同窓会の最新情報は
ウェブサイト、公式 Facebook・LINE・Instagram で今すぐチェック！



夢工報

お知らせ掲示板



2024年度維持振興基金

募金者名簿

※この度はご協力いただき、誠にありがとうございました。

青木 喜代司	小 川 文 夫	國 分 悠 哉	豊 泉 博
荒 井 久 明	太 田 正 利	坂 本 康 夫	西 浦 佳 秀
有 墨 忠 彦	小 山 遼 太	篠 欣 克	兵 頭 光 祐
五十嵐 隆英	岡 安 彰	鈴 木 肇	堀 田 猛
五十嵐 功	岡 田 正 隆	関 口 一 平	星 野 明
石 渡 秀 夫	笠 原 又 一	滝 島 正 之	本 野 裕 二 郎
井 上 眞	梶 山 昇	田 中 健 太 郎	三 宅 捷 夫
今 村 聡 輔	岸 和 浩	塚 本 和 秀	山 下 清 次
内 田 栄 信	岸 海 斗	辻 野 周 邦	若 林 勝 司
内 野 正 之	木 下 勝 男	鶴 岡 由 一	和 田 浩
大 野 光 陽	小 口 俊 明	當 間 裕 和	渡 邊 邦 雄

(敬称略、順不同)

- 皆様からいただいた寄付金の積立て金額は会計報告の決算書「特別勘定」に記載しておりますのでご確認願います
- ゆうちょ銀行から届く振替払込票の印字が読み取れない場合があります。万が一、お名前が間違っておりました際は次号にて訂正いたしますのでご一報願います
- 会計監査の関係上、昨年度中の募金は本年3月15日で区切らせていただきました。3月16日以降は次年度の募金扱いとなりますことをご了承願います



前年度決算・今年度予算

一般社団法人工学院大学校友会 附属高等学校同窓会

2024年度 決算書

2024年4月1日～2025年3月31日

2025年度 予算書

2025年4月1日～2026年3月31日

一般社団法人工学院大学校友会 附属高等学校同窓会

2024年度 決算書

2024年4月1日～2025年3月31日

【収入の部】			
科目	予算額	決算額	備考
会費収入	2,600,000	2,550,000	2024年度会費徴収(255名)
懇親会参加費	0	0	なし
雑収入	20	1,032	利息
前期繰越金	991,190	991,190	口座¥648,020、現金¥343,170
合計	3,591,210	3,542,222	

【支出の部】			
科目	予算額	決算額	備考
事業費	2,600,000	1,984,986	
生活実助費	800,000	670,200	同窓会クラブ費、卒業記念品(255名)
活動助成費	500,000	472,951	生涯学習活動に対する助成
OB会援助費	50,000	20,000	クラス会、同窓会関係への援助
会報出版費	450,000	472,880	2024年度会報(第48号)、2025年度ダイジェスト(第49号)
会報配送費	100,000	108,955	会報、組合案内送料、作業費等(校友会へ委託)
特別事業費①	100,000	100,000	校友会西東京支部との連携企画
特別事業費②	450,000	0	ホームカミングパーティー運営費
特別事業費③	150,000	140,000	全学大会参加補助
管理費	300,000	140,451	
総会費	20,000	0	総会参加費等
会費費	50,000	5,000	役員会、会報編集費等
通信費	50,000	34,122	さくらインターネット利用料
交通費	70,000	0	総会参加、取材等
雑費	50,000	58,007	
消耗品費	60,000	43,322	Adobeライセンス利用料、同窓会官製品等
雑費	50,000	5,655	振込手数料等
支出合計	2,950,000	2,131,092	事業費+管理費+雑費
特別勘定に移動	600,000	600,000	600,000円特別勘定に移動
次期繰越金	41,210	811,130	口座¥721,287、現金¥89,843 3月26日
合計	3,591,210	3,542,222	

監査の結果、相違ないことを認めます

2025年3月26日

佐藤 勝
内野 真治

【特別勘定予算】			
	収入	支出	
前年繰越し金	8,751,648	0	
繰立金	0	0	
寄付金	339,108	0	2024年度維持振興基金
利息	1,222	0	
預金の移動	600,000	0	一般会計から
助成金	0	50,000	東武東上線インターシティ場内利用金
合計	9,691,978	50,000	
次期繰越し金		9,641,978	

一般社団法人工学院大学校友会 附属高等学校同窓会

2025年度 予算書

2025年4月1日～2026年3月31日

【収入の部】			
科目	予算額	備考	
会費収入	2,940,000	2025年度3年次諸君(294名)	
懇親会参加費	0		
雑収入	1,000	利息	
前期繰越金	811,130	口座¥721,287、現金¥89,843	
合計	3,752,130		

【支出の部】			
科目	予算額	備考	
事業費	2,600,000		
生活実助費	800,000	同窓会クラブ費、卒業記念品	
活動助成費	500,000	生涯学習活動に対する助成	
OB会援助費	50,000	クラス会・同窓会関係への援助	
会報出版費	450,000	2024年度会報(第48号)、2025年度ダイジェスト(第49号)	
会報配送費	150,000	会報、組合案内送料、作業費等(校友会へ委託)	
特別事業費①	150,000	校友会近畿支部との連携	
特別事業費②	500,000	ホームカミングパーティー運営費	
特別事業費③	0	全学大会参加費補助	
管理費	300,000		
総会費	20,000	総会参加等	
会費費	50,000	役員会、会報編集費等	
通信費	50,000	さくらインターネット利用料	
交通費	70,000	総会参加、取材等	
雑費	50,000		
消耗品費	60,000	Adobeライセンス利用料、同窓会官製品等	
雑費	50,000	振込手数料等	
支出合計	2,950,000	事業費+管理費+雑費	
特別勘定に移動	600,000	600,000円特別勘定に移動	
次期繰越金	202,130		
合計	3,752,130		

【特別勘定予算】			
	収入	支出	
前年繰越し金	9,641,978	0	
繰立金	0	0	
寄付金	300,000	0	2025年度維持振興基金
利息	2,000	0	
預金の移動	600,000	0	一般会計から移動
助成金	0	0	
合計	10,543,978	0	

「クラス委員」「クラブ委員」選任のお知らせ

本会ではホームカミング・パーティーの企画や同窓会報の編集などに協力していただくメンバーとして、卒業生から各クラスの代表として「クラス委員」、希望する部活動の代表として「クラブ委員」を選任しています。2025年3月卒業生の中からは下記のメンバーが加わりました。どうぞ、よろしくお願いいたします。

クラス委員	クラス	名前	クラス	名前	クラス	名前	クラブ	名前	クラブ	名前	クラブ	名前
	1組	高城 日向	4組	島村 侑那	7組	赤坂 南音	ダンス部	大村 依楓	旅行・鉄道部	山田 正麒	バドミントン部	木村 真大
		西村 あおい		守重 空城	8組	舩田 麟	自動車部	坂本 来門	女子バスケット部	北田 和可奈	男子バスケット部	坂本 笙斗
	2組	稲垣 環	5組	福井 拓音		高宮 健	演劇部	赤坂 圭登	水泳部	登坂 洲斗	デジタルクリエイター育成部	佐藤 花乃音
		寺川 琉威		見附 叶和			硬式野球部	荻島 大河	美術部	鎌田 千尋	陸上部	松浦 光聖
		峯口 侃大	6組	田島 大遥			柔道部	五井野 敬士	バレーボール部	鈴木 七望	軽音楽部	秋葉 悠
	3組	近藤 紅葉		濱田 碧人			サイエンス部	小谷田 寿輝	硬式テニス部	岩崎 桜太	サッカー部	岡本 真実
		山上 倅弘		水堀 祐人								

同窓会役員名簿

任期(高校同窓会役員): 2025年4月1日～2027年3月31日(2年間)
任期(代議員): 2025年5月25日～2027年5月定時社員総会終結時まで

役職	卒業年	氏名	旧役職	校友会代議員	校友会役職
会長	1975	内野 正之		○	西東京支部長
副会長	1979	島田 浩行		○	理事
副会長	2007	田中 元樹		○	
副会長	2009	荒井 翔平	幹事	○	理事
会計	2005	光畑 和則	幹事	○	
会計	2014	新海 龍一	幹事		
幹事	1967	豊田 純一			
幹事	1975	岡安 彰	副会長	○	東京支部長
幹事	1977	小口 俊明			
幹事	1979	佐保田 一幸			
幹事	1979	池田 尚			
幹事	1981	小川 隆			
幹事	1995	白滝 聡	会計		
幹事	2002	雨宮 啓太	会計	○	
幹事	2007	有賀 雅雪			

役職	卒業年	氏名	旧役職	校友会代議員	校友会役職
幹事	2008	広田 慶孝			
幹事	2008	小川 友里加			
幹事	2014	小川 奨太			
幹事	2015	鈴木 あかり	新任	○	
幹事	2016	大谷 亘	新任	○	
幹事	2021	郷野 翔太朗			
会計監査	1979	岸 和浩	幹事		
会計監査	1988	内野 真治			
顧問	1958	石渡 秀夫			
顧問	1961	五十嵐 功			
顧問	1962	三宅 捷夫			
参与	1973	太田 正利		○	
参与	1964	鄭 雄飛			
参与	1969	若林 勝司			
参与	1973	佐藤 勝	会計監査		

氏名敬称略・順不同 校友会代議員は校友会員全体から選挙による選任 校友会理事は代議員による互選

事業報告・事業計画

[2024年度事業報告]

- 生徒奨励
卒業記念品贈呈／優秀生徒表彰(同窓会クラブ賞)
- 学園への援助
- 生徒の諸活動への助成
クラブ活動／生徒会活動／その他諸活動
- OB・OG会への支援
- 広報ツールの拡充と合理化
会報48号(本冊/HP掲載)、49号(HP掲載のお知らせ)の発行
SNSによる情報発信／ホームページの更新
- クラス・クラブ委員制度の拡充
- ホームカミングパーティー企画の拡充(中止)
- 同窓会意見交換会の開催
- ホームカミングデー(学園)への協力、参加(開催なし)
- 校友会活動への協力、参加
校友会西東京支部との企画連携

[2025年度事業計画]

- 生徒奨励
卒業記念品贈呈／優秀生徒表彰(同窓会クラブ賞)
- 学園への援助
- 生徒の諸活動への助成
クラブ活動／生徒会活動／その他諸活動
- OB・OG会への支援
- 広報ツールの拡充と合理化
会報49号(本冊/HP掲載)、50号(HP掲載のお知らせ)の発行
SNSによる情報発信／ホームページの更新
- クラス・クラブ委員制度の運営
- ホームカミングパーティー企画の拡充
- 同窓会意見交換会の開催
- ホームカミングデー(学園)への協力、参加
- 校友会活動への協力、参加
校友会西東京支部との企画連携

Index

巻頭	TOPICS	中学2年サッカー部 野村大輝さん、 サッカー東京都中体連選抜 U14 に選出
P.1	ご挨拶	高校同窓会会長、高等学校校長
P.2	学校だより	高等学校、中学校の近況
P.4	OB・OG寄稿	高校時代の思い出とこれからの歩み 広がる世界と私の学び：法律から国際政治への挑戦 とりあえず行ってみよう。やってみよう。 校友会・高知大会オブショナルツアーで歴史を楽しむ
P.9	生徒寄稿	大分の熱戦～インターハイで得たかけがえのない経験～
P.10	活動助成報告	バスケットボール部 / 硬式野球部 / 陸上部 / 演劇部
P.11	活動報告	新会員の皆さんへ、年間行事・イベント
P.12	夢工報 (お知らせ 掲示板)	維持振興基金募金者名簿 / 前年度決算・今年度予算 クラス委員・クラブ委員・役員名簿 2024年度事業報告・2025年度事業計画

Editors

編集長



荒井 翔平
2009年 普通科卒



豊田 純一
1967年 工業化学科卒



岸 和浩
1979年 普通科卒



新海 龍一
2014年 普通科卒



桑野 拓也
2016年 普通科卒



星 彩水
2017年 普通科卒



鈴木 初香
2018年 普通科卒



古畑 翔大
2020年 普通科卒



郷野 翔太郎
2021年 普通科卒

夢 広 場
ゆめひろば

会報「夢広場」第49号 発行日：2025年5月1日 発行人：内野正之
事務局：〒163-8677 東京都新宿区西新宿1-24-2 工学院大学校友会事務局
電話：03-3342-2064 FAX：03-3342-2035 メール：info@ga-kogakuin.jp
一般社団法人工学院大学校友会 附属高等学校同窓会

